

住民主体のまちづくり

No.35 2016. 10

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 高校生マナーアップさわやか運動

青少年育成鳥取県民会議では「大人が変われば子どもも変わる運動」を展開しています。多くの大人が手本となり、あいさつ・声かけなどを実施していくことで青少年を感化し、県民運動に発展させていくため県民会議として、地域で非行防止運動や青少年の健全育成活動に取り組んでいる方々に参加を呼び掛け、最寄りのJR駅や各高等学校の校門前で、高校生マナーアップさわやか運動を推進しています。



車尾地区では、JR東山公園駅入り口で青少年育成会など多くの活動団体のメンバーが9月6日（火）から9日（金）まで分担して、高校生が登校時に下車して来る機会にあいさつ・声かけをしました。東山公園駅は、付近に無料駐輪場があり利用する高校生の数は、近くの米子南高校の他に5校にも及び県西部の駅では最も多いと駅の方に聞きました。この東山公園駅の存在をあらため認識し、車尾地区の資源としてまちづくりに活かすことを考えていく必要があります。



■ 社会福祉協議会代議員

特殊詐欺被害を防止する地域モデル検証事業の取り組みについて、中間の実施報告を9月28日（水）

の午後7時から車尾公民館で行いました。参加代議員は24名、県消費生活センター・米子警察署・委託業者等の出席で、「これまでの取り組み」「これからの取り組み」を会長が説明しました。以下の概要です。

項目実施日	項目概要
5/19（木） 7/12（火） 10/7（金）	① 専門講師によるワークショップ 消費者教育支援センターの柿野総括主任研究員による自治会長・民生委員・在宅福祉員の3者を対象に3回実施。
7/1（金）～ 7/25（月）	② 事前アンケート 現状把握（65歳以上）のアンケートを自治会長の聞き取り方式で実施。
7月	③ 特殊詐欺電話への非接触について 家庭電話を常時留守電状態に切り替えるよう自治会ぐるみで取り組む。
11/25（金） 12/14（水） 1/22（日）	④ 高齢者憩いの場（サロンなど）で寸劇で学び 民生委員による喜怒哀楽を盛り込んだ寸劇で啓発する。
7/19（火）	⑤ ATMに高齢者等が移動する様子を見分ける 住民による朗読劇をもとに米子警察署の警部補による講習会。
毎月15日 14:00～16:00	⑥ 特定時間帯の見回り強化 被害に遭いやすい時間帯にATM機付近の集中的な見回りと声かけを実施。
7/8（金）	⑦ 窓口対応者の気づき 米子警察署員と会長などで地区内の関係窓口を訪問し研修と協力を要請する。
11/15（火） 14:00～	⑧ 模擬訓練 車尾郵便局で実施。
6月から2月	⑨ 啓発グッズの配布 うちわ、どら焼き、シールなどを地域行事等で配布。チラシは月ごとに全戸配布。のぼり旗を地区内の要所に60本設置。
1月中	⑩ 事後アンケート 事前アンケートの回答者を対象に自治会長が聞き取り方式で実施。

このような取り組みを確実に行うことで、車尾地区内で特殊詐欺被害者が出ないことをめざしています。

■ 熊本城修復募金のお礼

9月3日（土）の車尾ふれあい祭りにおいて「熊本城修復義援金」の募金を呼び掛けたところ、6,642円集まり車尾まちづくり推進会議名で熊本市に贈りました。報告に併せお礼申し上げます。ありがとうございました。



自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）